

令和 2 年 8 月 28 日

日本伝熱学会北陸信越支部
会員各位

日本伝熱学会北陸信越支部
支部長 太田 淳一

秋季セミナー開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、人の往来や、多人数での会合などの自粛が求められる事態となっています。秋季セミナーは当初、長野県において開催を予定しておりましたが、8月現在の状況を考慮し、発表者および参加者の皆さまの安全を最優先とし、初の試みとなりますが、Web 会議システムを利用した発表形式で実施させて頂く事と致しました。

例年、一般講演も行われますが、今回は特別講演のみといたします。また、企業見学、懇親会は中止とさせていただきます。Web 環境下、情報交換や人的交流の場の提供に向け、準備・運営をしていく所存であります。皆様のご理解をお願い致しますとともに、多くの方々の参加をご検討頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

開催日：令和 2 年 10 月 3 日（土）

開催場所：Web 形式にて実施

参加費：無料（学会員であることを参加条件とします。）

Web 会議

12:20 開会 あいさつ

12:30～13:20 特別講演 長野高専・教授 羽田 喜昭 氏

休憩 10 分

13:30～14:20 特別講演 富山大学・教授 川口 清司 氏

休憩 10 分

14:30～15:20 特別講演 岩手大学・教授 船崎 健一 氏

休憩 10 分

15:30～16:20 特別講演 公立諏訪東京理科大学・名誉教授 河村 洋 氏

16:20 閉会 あいさつ

16:30 終了

◎問合わせ先：

浅岡 龍徳（信州大学） TEL：026-269-5105 e-mail：asaoka@shinshu-u.ac.jp

渡辺 昌俊（長野高専） TEL：026-295-7055 e-mail：m_watanabe@nagano-nct.ac.jp

◎参加申込は下記の申込フォームをご利用下さい。

記入後、申込先（浅岡：asaoka@shinshu-u.ac.jp）に9月23日までに送信して下さい。

◎Web 会議システムには Zoom を使用します。参加人数に 100 名の制限がありますので、これを超える場合は、参加いただけない場合もありますことを予めご承知置きください。

◎参加登録をいただいた方に個別にミーティング ID とパスワードをお知らせします。

◎Web 会議の参加方法などは、登録いただいたメール宛に案内いたします。

◎学会員が参加登録した場合、参加登録者の研究室の学生用として、本人用 1 アカウントの他に、3 アカウントまで（合計 4 アカウントまで）登録できます。学生用のアカウントを使用する者の会員資格は問いませんが、研究室の学生以外の者に使わせないでください。参加人数に限りがありますので、学生用アカウントの申込数は必要最小限でお願いします。また、申込み多数の場合は学生用アカウントの数を減らしていただく場合があります。

◎学生会員は正会員と同様に参加登録していただけます。学生用アカウントには含まれません。

===== 【申込フォーム】 締切 9 月 23 日 =====

◎参加者

※所属単位でまとめてご登録いただけます。

※会員種別は該当するものを残してください。その他の種別の場合は、両方消して種別を記載してください。

※電話番号は当日必ず連絡できるものをご登録ください。

参加者 1

氏 名：

所 属：

会員種別：正・学

メールアドレス：

電話番号：

学生用アカウントの必要数：不要・1・2・3

学生用アカウント 1 を使用する者の氏名：

学生用アカウント 2 を使用する者の氏名：

学生用アカウント 3 を使用する者の氏名：

(以下、必要に応じて追加／削除してください。)

参加者 2

氏名：

所属：

会員種別：正・学

メールアドレス：

電話番号：

学生用アカウントの必要数：不要・1・2・3

学生用アカウント 1 を使用する者の氏名：

学生用アカウント 2 を使用する者の氏名：

学生用アカウント 3 を使用する者の氏名：

参加者 3

氏名：

所属：

会員種別：正・学

メールアドレス：

電話番号：

学生用アカウントの必要数：不要・1・2・3

学生用アカウント 1 を使用する者の氏名：

学生用アカウント 2 を使用する者の氏名：

学生用アカウント 3 を使用する者の氏名：

===== 【申込フォーム END】 =====

【特別講演】 10月3日 12:30~13:20 長野高専・教授 羽田喜昭氏

「衝突噴流熱伝達を振り返って」

概要：講演者はこれまで、円柱まわり・平板面や凹面の衝突噴流熱伝達促進・制御に関する研究を行ってきた。それらの研究に至った裏話や失敗談など未発表のものも含めて、話をしたいと考えている。噴流の面白みが若い人に伝われば幸いです。

【特別講演】 10月3日 13:30~14:20 富山大学・教授 川口清司氏

「沸騰冷却を用いた機器冷却」

概要：電子機器に搭載される半導体は高発熱量・高発熱密度化の傾向にあり、機器冷却は電子機器の長寿命化や小型・軽量化にとって重要な課題である。この講演では、これまで行ってきた高熱伝達率を有する沸騰冷却を用いた、高出力半導体素子用冷却器、大出力基地局通信機器用冷却器、および高発熱密度を有する CPU 用冷却器における研究開発の概要について紹介する。

【特別講演】 10月3日 14:30~15:20 岩手大学・教授 船崎健一氏

「ガスタービンにおける最新の冷却技術について」

概要：ガスタービンのタービン入口温度（TIT）は、高出力かつ高効率を目指して上昇の一途を辿っている。その温度上昇を支えているのが冷却技術であり、特にフィルム冷却については、その有効性ゆえに非常に多くの研究が行われている。本講演では、ガスタービンの冷却技術全体を俯瞰しつつ、最新の冷却技術、特にフィルム冷却について、岩手大学での研究例なども交えながら紹介する。

【特別講演】 10月3日 15:30~16:20

公立諏訪東京理科大学・名誉教授 河村 洋氏

「北陸信越地方における人と熱との関わりの足跡」 -

概要：講演者は日本伝熱学会内に「熱の科学技術史研究会」を設置して、主として伝熱シンポジウムの開催地に関わりのある「人と熱との関わりの足跡」を取り上げて調査してきた。とくに北陸信越支部からはこの地域におけるいくつかの事例をご紹介頂いている。金沢の伝熱シンポジウムでも、オーガナイズドセッションを計画していた。内容は、金沢の「金箔製造」における熱との関わりや「氷室」について地元の方々からご紹介頂く予定であったが中止となったので、今回はその概要を紹介し、またその他の県における事例についてもご紹介させて頂きたい。

以上